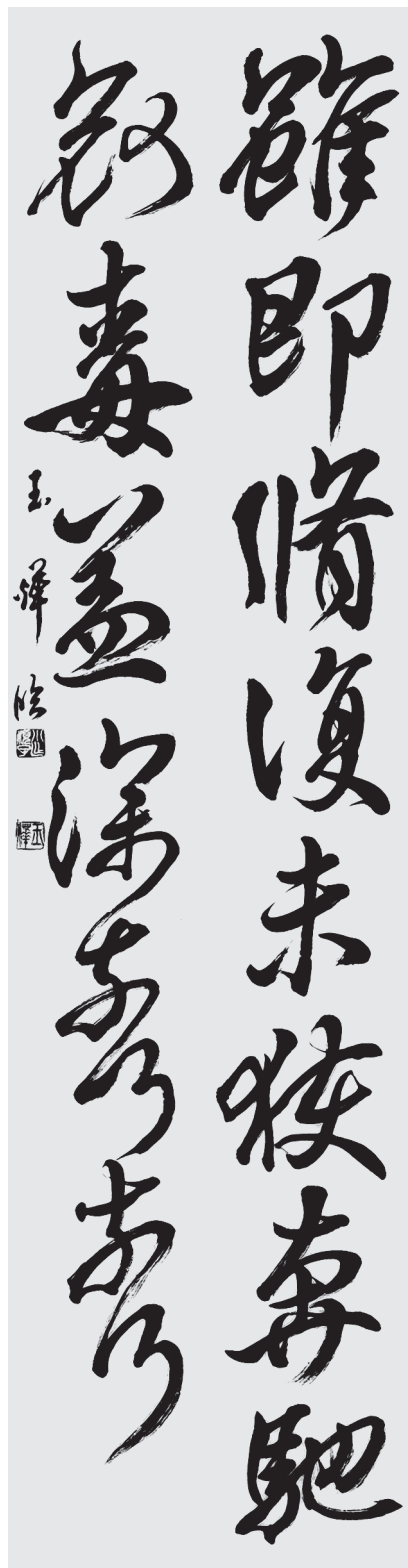
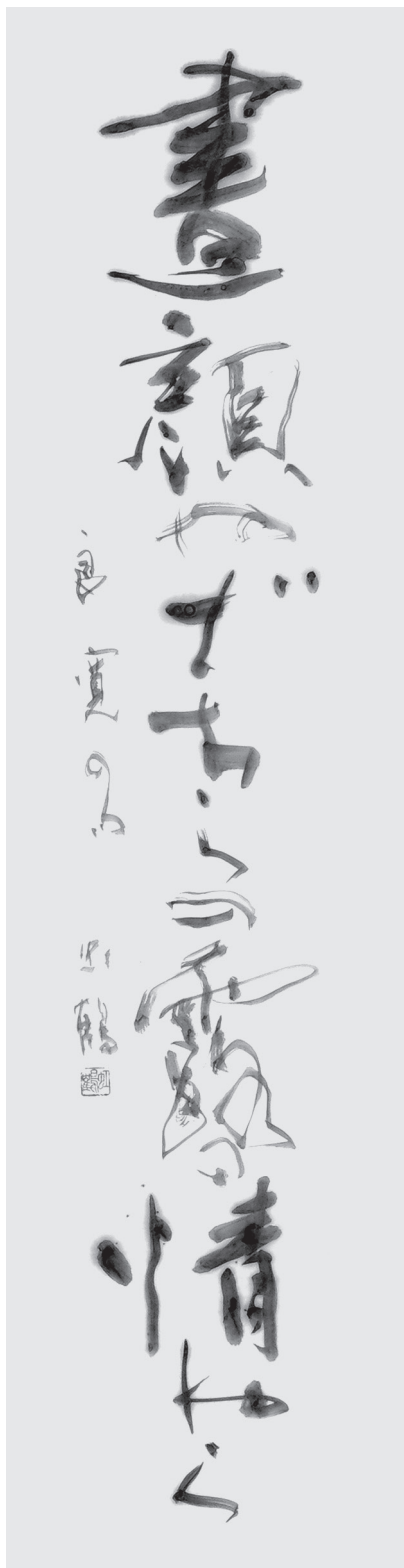




条幅規定

師範正 登本 花徑

たつぷりと墨を含み、リズムに乗った浮沈に自然な俯仰法を利かせて多種な線を表現。大きな腕の動きで筆を操り、理想の線を紡ぎだす。最高の手本から玉作は生まれる。その手本は古典にあり。

条幅随意(臨書)

師範 小川 玉燐

文字をしっかり理解し、丁寧に臨書されています。無理のない自然なリズムで最後まで書き切れ、安定した書きぶりです。手紙の内容も加味し、線に遅速・緩急の変化もほしいところ。精進を。

条幅随意

師範正 宮本 虹鶴

抜群のリズムで線が明るく躍動感がある。縦へ流れがちな作を横への意識や揺らぎも怠らず、豊かな線から構築性も変化に富み、宮本ワールドが降臨する。ただ、墨色は今一步。



半紙規定

成家 江川 悦子

確かな用筆と骨力のある落ち着いた線。一点一画の細部にまで気配りされた構築性とバランスのとれた余白の配置など、成家としての気概さえ感じる見事な楷書作品。



半紙随意

師範正 園田 輝美

運腕大きく、執筆柔らかく、楽しみながら書く様子が窺える。手本に捉われすぎず、自由で大らかなところが今回成功した。まだまだ伸び代が大きい。次回も期待している。



半紙随意(臨書)

師範正 田染 健一

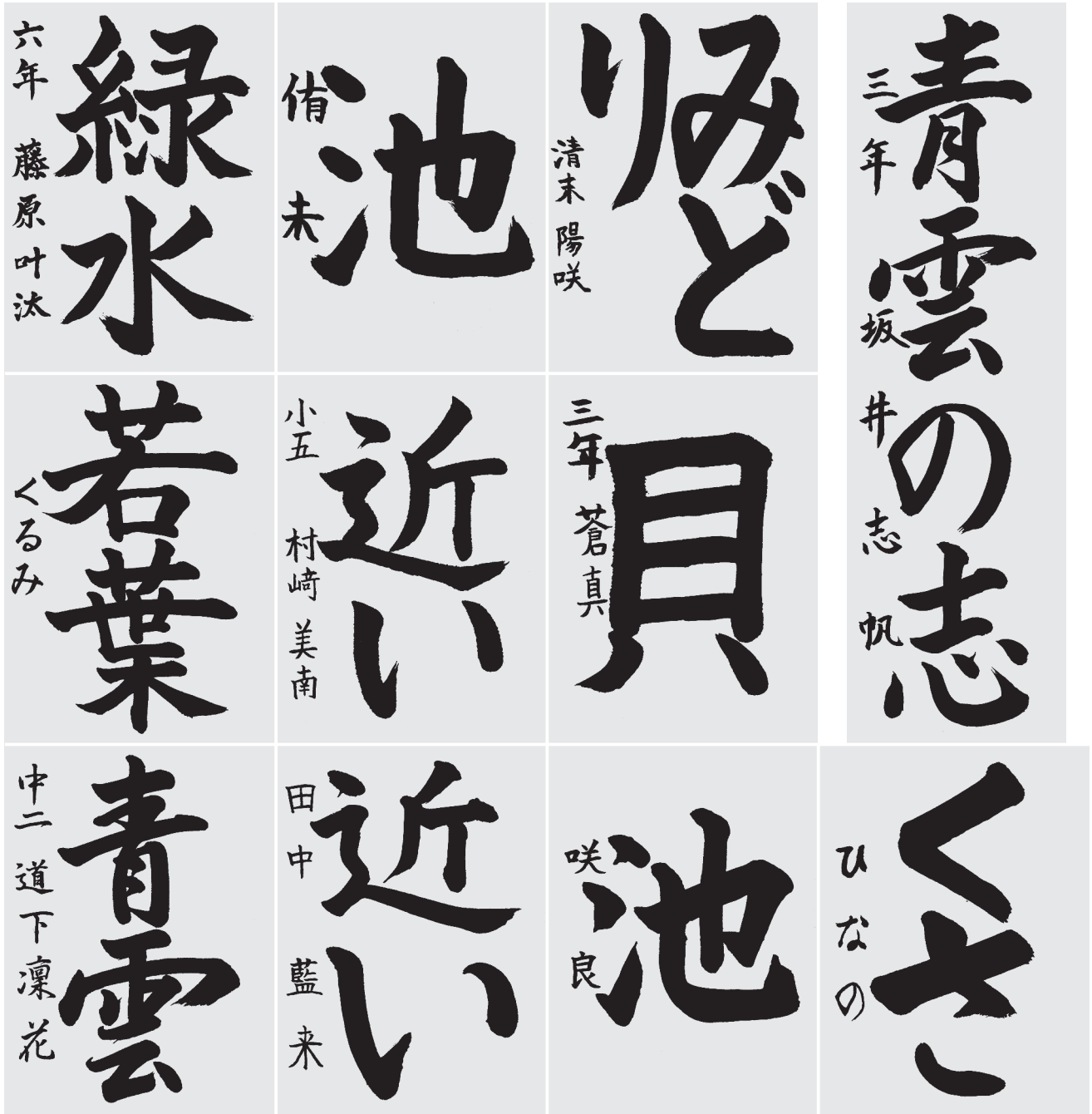
流れる速い線とゆっくりとした厚い線のそれぞれに表情の多彩さと変化に富んだ線が互いに絡み合い、見事なハーモニーを奏でているような臨書作品。まだまだ伸び代十分。



半折1/2縦

師範 永谷 瑤春

落ち着きのある線から動きのある線へと織り交ぜながら、余白も意識した躍動感のある作品。やや手本に捉われすぎの感もする。墨色や漢字の仮名変換など、少しの挑戦が永谷ワールドへの一步になるう。



学生部条幅 (1/4)

中三 六段 坂井 志帆
流れ良く書き始めから名前まで堂々と書けています。線にも勢いがあり今後の成長がとても楽しみです。期待しています。

有川 蒼真
小三 二級
とてもむずかしい課題でしたが、バランスよく、どうこうと書けています。このちようしでこれからはがんばってください。

清末 陽咲
小二 準五級
半紙いっぱい形よくとてもおびやかに書けましたね。むずかしい名前も漢字でじようしに書けたすばらしい作品です。

眞島 侑未
小四 一級
「ペンとツクリ」のバランスがむずかしい課題でしたが、お手本をよく見て、元気に書けています。これからがんばってね。

藤原 叶汰
小六 三段
伸びやかな線で、名前まで形良くしっかりと書けています。この調子でさらに上の段位を目指し、これからも頑張ってください。

西村ひなの
小一 七級

げんきよくのびやかにかけましたね。おしゅうじのたのしさがさくひんからつたわってきます。これからもがんばってね。

田崎 咲良
小四 初段
基本の筆づかいがしっかりと出来ていて、全体のバランスも良く、名前までしっかりと書けています。今後に期待大！

田中 藍来
小五 準三段
難しい課題でしたが、名前まで丁寧に書けています。漢字よりも平仮名を少し小さく書くことさらに良くなると思っています。

道下 凜花
中二・三 特待生
書き始めから名前まで集中力を切らさずに書き、完成度の高い見事な作品です。今後は一般部へも挑戦しましょう。

(坂元紫香先生評)

新しい生活や環境に慣れ始める
とともに、日々の学校生活の中で、
「自分のことをもつと知つてほしい。」
「周りの友達のことをもつと知れた
い。」と思うことはないだろうか。

新緑のまじり、季節は皆様お変わり
なくお過してまいりましたか。
今週から私高松に帰省しており、この時期
必ず食へるのが旬の土佐饅頭です。かねてから
先生にも、賞味していただきたく思っています
したが、やそを送りすぎることが多かったです。
活きのように入道にお習い上がりください。
これから暑くなりますので、どうぞ自己愛
ください。

桶橋篤子

駅が与えてくれるのは、確実に移動
 ができるといふ安心感。列車に乗れば、
 遅れずに目的地に行ける。明日も明後
 日も十年後も、日常を破壊された被
 災地にとって、どれだけ心強いことか。

段	級
氏	名
阪井 浩子	